

暖かくなりました。本当の春を迎える日が来ますよう対策万全に！

楽しい活動から地域を支える



菊名みんなのひろばを開けたのは、**地域包括ケアシステム**を知ったからです。そこでは高齢化を迎える地域で人びとが支え合うことの大切さが述べられました。2018年コミバス市民の会総会のことでした。しかし、この地域包括システムが機能するためには、支え合いを助ける「活動」と活動するための「場所」が必要なはず。そこで、「**一軒の家から何を生み出せるか**」との呼びかけをもってKUVアネックス（みんなのひろばの建物）を開けました。

ワークショップを開催し、いろいろな意見と提案を出していただきました。実行案を試しながら協議の場を作って活動してきました。

そして、今年度に、「サービスB」と呼ばれている「**横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業**」を申請する運びになりました。この事業は、2019年夏から始めた**木曜サロン**などの活動が基になっています。ここまで来ることができたのは、菊名みんなのひろばを支えてきて下さった方々のご尽力の賜物です。

サービスBとは
地域住民の方々が、要支援者等の
方に向けた介護
予防・生活支援の
活動



木曜サロンでは、昔のことを回想して元気を取り戻す催しがあります。これを「**昭和むかし話**」と呼んでいます。昔の衣食住や娯楽、学校生活などを語り始めたらみんな元気になるのです。菊名みんなのひろばでは、新しい「**通所型支援事業**」の中で、木曜サロンの活動を受け継ぐとともに、この地域の特性を生かして、**ガーデニング**や**近所へのお出かけ**などを組み合わせてみたいと思っています。このような楽しい企画を増やすためには、活動に参加していただける方を求めています。

一方、**カフェテリア**や**キッチンひろば**の活動が拡がって、お茶と食事を楽しむ場ができました。これは、ワークショップでみんなが望んだことでした。この他に、いろいろなことが進みつつあります。あなたも、まちづくりの一步を踏み出しませんか。

ひろばに「みんなの本だな」をつくります

菊名みんなのひろばには、地域の方たちから本やLPレコードをたくさんご寄贈いただいています。現在、本は300冊余り、レコードは170枚余り。ご厚意を生かすべく、ことしの初夏くらいにまちのライブラリー「**みんなの本だな**」を開くことをめざして、準備しているところです。

さしあたって1階洋間の棚に、昭和の暮らしや認知症に関する本を並べました。3月3日の「昭和昔話」では、そのなかの1冊から話題を拾って、参加された皆さんからお話をうかがい交流しました。

今後は、本やレコードを置く棚を整備して、まちの歴史に関する本や自分史を集めた「まちとひとの記憶の本だな」や、音楽関係の本やレコードを集めた「音の本だな」、またちょっと昔の漫画本のコーナーなどを展開していく予定です。

どんな本があるのか、これから少しずつこのニュースで紹介していきたいと思いますので、お楽しみに！



キッチンひろばの ワンプレートランチ

火曜日 11:30-14:00
ランチ500円 飲み物100円



マージャンクラブ 4月16日(土)

13:30-16:00

健康マージャンを開催します。楽しむマージャンです。マージャンはコミュニケーションの活性化や脳活のために有意義です。一緒に脳トレしませんか。



